

第5次呉市長期総合計画 前期基本計画の振返り

1 第5次呉市長期総合計画 前期基本計画の振返りについて

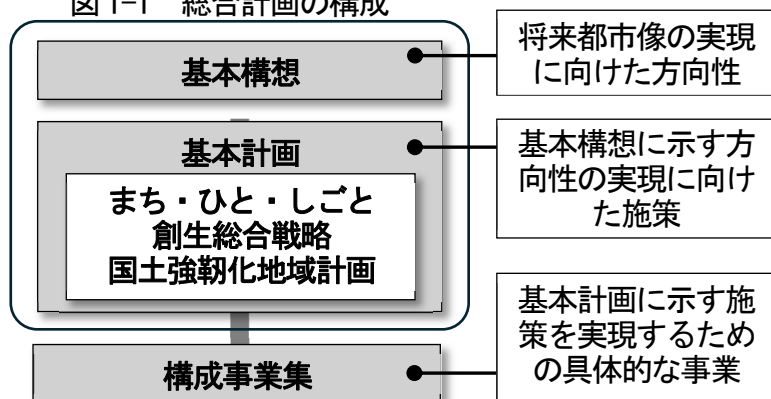
第5次呉市長期総合計画は、令和3年3月に、市政運営の根幹となる計画として、また、将来の呉市の姿を見据えた新しいまちづくりの指針として策定したもので、「基本構想」、「基本計画」と基本計画に基づき実施する事業をまとめた「構成事業集」で構成されています。

基本構想では、令和12年度（2030年度）末における呉市の「将来都市像」と、その実現に向け令和3年度（2021年度）からの10年間で取り組む「目指すべき姿」を政策分野ごとに掲げています。

基本計画は、基本構想の計画期間を前期（令和3年度から令和7年度）、後期（令和8年度から令和12年度）に分け、将来都市像の実現に向けた8つの政策分野ごとに施策をまとめるとともに、国の政策や全市的に取り組まなければならない課題などへの対応を示した「横断的な視点」を示し、これまで「第5次呉市長期総合計画 前期基本計画」（以下、「前期計画」といいます。）に掲げている施策に取り組んできました。

この度、令和8年度からの後期基本計画の策定に向けて、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする前期計画の振返りを行い、8つの政策分野における主な取組と成果及びその課題についてとりまとめましたので報告します。

図1-1 総合計画の構成



※第2期「呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び第1期「国土強靱化地域計画」は、前期計画に包含されています。

図1-2 計画期間

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
基本構想	→									
基本計画	前期基本計画 →					後期基本計画 →				
まち・ひと・しごと創生総合戦略	第2期 →					第3期 →				
国土強靱化地域計画	第1期 →					第2期 →				
構成事業集	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※構成事業数は毎年度更新

政策分野 1	子育て・教育分野
目指すべき姿	若い世代が安心して子どもを産み育て、未来を創る人材を育てるまち
基本政策	1 妊娠・出産・子育て支援の充実 2 学校教育の充実
主な取組と成果	若い世代が安心して子どもを産み育て、未来を創る人材を育てるまちの実現に向けて、子育て環境や教育環境を整備しました。 1 妊娠・出産・子育て - 子どもが保育中に微熱を出すなどの体調不良になった場合に、保護者が迎えに来るまでの緊急対応ができる環境を整備しました（令和7年度目標：体調不良児対応型施設 私立 10施設→20施設、公立 1施設→2施設）。 - 令和6年4月1日から、市民が、市内の病児・病後児保育施設を利用する際の利用料（2,000円）を無償化しました。また、病児・病後児保育施設を利用する際の手続きについて、保護者の利便性や施設の負担軽減のため、スマートフォン等でウェブサイトやLINEから24時間いつでも予約申込ができる病児保育ネット予約サービスの「あずかるこちゃん」による予約等の運用を開始しました。 - 子育てに関する様々な手続きについて、スマートフォンを使うことで、曜日や時間にかかわらず、いつでも申請することができる「子育てオンライン申請」の運用を順次開始しました。 - 令和5年10月から、医療費の助成対象を入院・通院とも高校生等（18歳到達後の最初の3月31日まで）に拡大するとともに、所得制限を撤廃し、県内トップクラスの助成内容へと拡充することで、呉市に住む全ての子どもたちの健全な育成を図り、子育て世帯の経済的な負担を軽減しました。 - 不育症（2回以上の流産等を繰り返す。）夫婦を対象に、不育症の検査・治療費を助成しました。不妊治療費（一般不妊治療）については、一部治療が保険適用となりましたが、限度額の範囲内で助成を実施しました。 - 令和6年度から、子どもや子育て中の方々が気兼ねなく様々な制度やサービスを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人が子どもや子育て中の方々を応援する、社会全体の意識改革を後押しする「こどもまんなかキャンペーン」を実施しました。 - 呉市の保育所等で働きたいと思う若者を増やすため、保育士等の処遇改善や業務負担軽減に対する市独自の助成を行うことで、呉市で働く保育士等を支援しました。 【令和7年度 新規事業】 - 病気の回復期で、保育所等での集団保育が困難な子どもを預かる病後児保育室を開設します。 - 保育所における性被害防止として、子どものプライバシー保護設備等による性被害防止対策を支援し、子どもが安心して過ごすことができる環境を整備します。 - 子どもや若者へ自らが権利の主体であることや令和7年3月に策定予定の「呉市こども計画」の内容について周知を図るた

	め、子ども向けの概要版の計画を作成します。 2 学校教育 ・ I C Tを活用した教育を推進するため、令和3年4月からタブレット端末（小中合計 16,007 台）の運用を開始し、学習支援アプリを活用する等、児童・生徒が意見や考えを共有することで、協働的な学びを支援することにつなげました。また、令和6年8月からA I型デジタルドリルを全ての小・中・義務教育学校に正式導入し、児童生徒一人一人の理解度に応じた「個別最適な学び」を支援することにつなげました。 ・ 安全で快適な教育環境を確保するため、トイレ洋式化を進めるとともに、安全な教育環境を確保するための校舎等耐震化や、小中高等学校の特別教室等へ空調整備を実施しました。(令和7年度末トイレ洋式化率(見込み):小・中・義務教育学校 91.4%, 高等学校 90.2%) ・ 親子調理方式等の導入により、令和7年度から全ての中学校（義務教育学校を含む）で温かい給食が提供されることになりました。 ・ 各学校の実態に応じて、特別支援学級指導員、学校教育指導補助員、医療的ケア看護職員を配置し、きめ細かな指導・支援の充実を図りました。 ・ 教育委員会事務局にスクールカウンセラーを配置し、学校訪問や家庭訪問、児童生徒及び保護者への面談を行い、教育相談体制の充実を図りました。 ・ 不登校等児童生徒の安全・安心な居場所を確保し社会的自立に向けた支援の充実を図るため、小中学校に校内S S R（スペシャルサポートルーム）を設置しました。 【令和7年度 新規事業】 ・ 災害時に避難所となる呉市立学校5校の体育館について、児童生徒等の学習環境の向上と避難者の生活環境の改善のため、空調整備をするための設計業務を実施します。 ・ 小中一貫教育を基盤とした教育改革の更なる発展のため、令和7年度に「小中一貫教育全国サミット in 呉」を開催し、関係自治体や学識経験者、学校関係者等での活発な意見交換や情報共有を図るとともに、呉市の小中一貫教育の取組を発信します。
課題	1 妊娠・出産・子育て ・ 不妊症・不育症の治療を必要とする方は増加傾向であり、その費用を助成することで、経済的負担を軽減し、一人でも多く安心して妊娠・出産できるよう継続して支援する必要があります。 ・ 令和7年度に開設する病後児保育室について、今後利用者の増加が見込まれるため、他地区への開設について検討する必要があります。 ・ 年齢・性別を問わず、全ての人が子どもや子育て中の人々を応援する、社会全体の意識改革を後押しすることが重要であり、引き続き、各種事業を着実に実施していくことで、社会全体（市役所や企業、事業者、家庭、地域社会、学校、子どもや子育て世帯に会う全ての市民など）で子どもの健やかな成長を後押しし、「こどもまんなか」を実現する必要があります。

2 学校教育

- ・ 学校施設の整備は、耐震化を重点的に進めてきましたが、既存校舎の長寿命化改良が進んでいないことから、子どもたちの安全・安心な学習環境を整えるために、計画的な既存校舎の長寿命化改良を行う必要があります。
- ・ 令和7年度新規事業の学校体育館空調整備は、国庫補助適用要件に「断熱性の確保」が求められていることから、断熱性能の低い、築年数が経過した体育館においては、事業費が嵩むことが想定され、令和7年度から行う5校の実施状況を踏まえ、今後の方向性を検討する必要があります。（文部科学省の目標設置率：令和17年度95.0%）
- ・ 不登校等児童生徒をはじめ、個別の指導や支援が必要な児童生徒が増加しており、個を大切にしたい支援の充実を図る必要があります。

政策分野 2	福祉保健分野
目指すべき姿	誰もが、住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けることができるまち
基本政策	1 地域福祉の推進 2 健康づくりの推進 3 高齢者福祉の推進 4 障害者福祉の推進 5 生活困窮者の支援
主な取組と成果	誰もが、住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けることができるまちの実現に向けて、地域福祉や健康づくり、高齢者福祉、地域保健・医療、障害者福祉等を推進しました。 1 地域福祉の推進 - 地域の福祉において重要な課題である、8050 問題、介護と育児のダブルケア、ひきこもり、孤独・孤立対策など、高齢・障害・子ども・生活困窮といった「縦割り」の制度では十分な対応ができない複雑・複合化した課題に対応する包括的な相談支援を行うため、各支援制度・関係機関との調整（多機関協働）、支援が届いていない人への支援（アウトリーチ等を通じた継続的支援）及び社会的に孤立しがちなケアラー支援やひきこもり家族等を地域社会で支える仕組みづくり支援（参加支援、社会的包摂の推進支援）の事業を一体的に実施しました。 2 健康づくりの推進 - 呉市地域総合チーム医療として、呉市国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療制度被保険者のレセプトや健診のデータを活用し、生活習慣病の発症・重症化・再発を予防する取組を、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の協力を得て実施しました。 - 呉市国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療制度被保険者のレセプトや健診のデータを活用し、骨粗しょう症検診や骨粗しょう症治療中断者への受診勧奨等の保健事業を展開しました。また、令和3年度から公益財団法人骨粗鬆症財団と、広島骨を守る会と共催し、「世界骨粗しょう症デー in 呉」を開催しています。 - 運動機能向上、口腔ケアの推進、栄養改善、認知症予防の要素を取り入れた高齢者筋力向上トレーニングなどの教室やすこやかサロン等、介護予防教室を開催し、介護予防の普及啓発を実施しました。 【令和7年度 新規事業】 - 帯状疱疹の発病や重症化を予防することを目的とする帯状疱疹ワクチンの予防接種が定期接種に位置付けられることから、対象者に対して定期予防接種を実施します。 3 高齢者福祉の推進 - 認知症になっても誰もが住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるように、認知症スクリーニング健診、認知症の人と介護者の生活のサポートや認知症に係る事故救済制度等を「認知症パッケージ事業」として一体的に実施しました。 - 高齢者の閉じこもり防止や社会参加の促進を図るため、市内に居住する70歳以上の方のバス運賃を助成しました。呉市内を

	運行する路線バスを1乗車100円で利用できるICカードを交付しました。さらに、令和6年度は交通事業者のシステム変更に伴い、新乗車券システム（モビリーデイズ）に移行しました。 4 障害者福祉の推進 ・ 障害者やその家族が、必要な時に必要な場所で必要な支援を受けることができるよう、障害福祉サービスや地域生活支援等を充実しました。 ・ 令和4年6月に呉市情報コミュニケーション条例、呉市手話言語条例を制定し、施策を推進する取組として、市の各種イベントに手話通訳者等が派遣されるようになったほか、心のバリアフリーハンドブックを作成し学校等で普及啓発の実施や、新たに合理的配慮支援事業補助金を創設しました。 ・ 障害者就労施設の理解促進と障害者の工賃向上を図るため、呉南特別支援学校と連携しシビックマーケット祭りを開催しました。 ・ 令和6年度に高齢者や障害者等、市民の誰もが安心して外出できるよう、公共施設や交通施設等のバリアフリー情報をまとめたデジタルマップを作成しました。 【令和7年度新規事業】 ・ 新たに基幹相談支援センターを設置することで、複合的な課題を抱える障害者やその家族を支援している地域生活支援拠点及び相談支援事業所等をバックアップし、地域の相談支援体制を充実・強化を図ります。 5 生活困窮者の支援 ・ 家計に問題を抱えた生活困窮者に対して、家計収支の分析や債務整理など専門的な立場から助言を行うことで、生活再建を支援する家計改善支援事業を実施しました。 ・ すぐに就労することが困難な生活保護受給者や生活困窮者に対して、農業体験やボランティアなどの訓練を行い、日常的・社会的自立を目指した就労準備支援事業を実施しました。 ・ 生活保護受給者は健康上の課題を抱えていることが多く、医療と生活の両面から健康管理に対する支援を行うことが必要となることから、令和6年度において健康管理の基本となる「健診受診勧奨事業」に重点的に取り組みました。
課題	1 地域福祉の推進 ・ 少子高齢化の進展や地域のつながりの希薄化などに伴い、福祉ニーズも多種多様化するとともに、ひきこもりやダブルケアなど複雑・複合化した課題への対応も必要となっています。 ・ 市民一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、相談内容にかかわらず包括的に相談を受け止め、支援が届いていない人に支援を届けるなど、既存の支援機関等の機能や専門性を活かしつつ、相互に連携しチームとして福祉サービスを提供する重層的支援体制の強化・充実が重要となっています。

2 健康づくりの推進

- ・ 带状疱疹ワクチンの予防接種について、接種の動向を注視し、接種を希望する対象者が機会を逃すことがないように周知する必要があります。

3 高齢者福祉の推進

- ・ 一人暮らし高齢者及び高齢者世帯の割合が増加傾向であり、後期高齢者率も上昇傾向にある中で、日常生活上の支援や介護が必要な高齢者が増えています。

4 障害者福祉の推進

- ・ 今後も、障害福祉サービス等の利用者の増加が見込まれるため、受け皿となるサービス提供事業者や相談支援体制の充実などを図る必要があります。
- ・ 障害の有無にかかわらず、互いに支え合い、誰もが自らの意思で社会活動に参加できる地域づくりを推進するため、障害者に対する理解促進に引き続き取り組む必要があります。
- ・ 専門家を講師に迎え工賃向上に資する研修会を実施していますが、就労継続支援B型の平均工賃月額が上がっておらず、今後は、工賃向上の取組に消極的な事業所も含め、工賃向上に対する意識をさらに高めていく必要があります。

5 生活困窮者の支援

- ・ 家計改善支援事業では、相談件数は増加しているものの、解決に至る件数は1割強にとどまっている現状を踏まえ、相談者個々の特性を考慮したうえで、アプローチの仕方や関わり方など、相談者に寄り添ったきめ細やかで継続的な支援を行う必要があります。
- ・ 就労準備支援事業では、最終的には就労による経済的な自立を目標としていますが、就職者数が減少傾向にあるため、今後は支援内容の見直しや更なる充実を図る必要があります。
- ・ 生活保護受給者に対する健康管理支援事業では、健診受診率の大幅アップを目指し、保健や医療に関する専門的知識を有する保健師による「健診受診勧奨」を行うなど、新たな試みにより健診受診勧奨事業に重点的に取り組みましたが、微増に留まるとともに、健診受診を希望している被保護者数に対し、実際の健診受診者が低調であったことから、実施スケジュールの見直しや勧奨頻度を上げるなど、更なる受診勧奨強化への取組が必要です。

政策分野 3	市民生活・防災分野
目指すべき姿	多様な主体が協働し、誰もが安心して笑顔で暮らせるまち
基本政策	1 市民協働と多文化共生の推進 2 安全・安心な生活の確保 3 人権尊重と男女共同参画の推進 4 防災・減災に向けた体制の強化 5 消防・救急機能の強化 6 国内外との多様な交流機会の充実
主な取組と成果	多様な主体が協働し、誰もが安心して笑顔で暮らせるまちの実現に向けて、地域の人材育成、財政支援、防災、消防・救急体制等の整備を推進しました。 1 市民協働と多文化共生の推進 - 住民自治組織あり方検討委員会において、自治会等の住民自治組織が課題としている役員等の担い手不足の問題や行政からの依頼による負担増などについて検討・協議しました。 - 国籍に関わらず共に安心して暮らすことができるよう、国際交流センターと外国人住民の多い東部地区（広市民センター）の相談窓口において、外国人相談員による相談業務を実施しました。 - 安芸灘地域に居住する子育て世帯に加え、母子健康手帳の交付を受けた出産予定者や29歳以下の若者がいる世帯を対象に安芸灘大橋有料道路回数通行券綴1冊につき1万円を助成しました（上限：1人目：3冊/年、2人目以降：1冊/年）。 【令和7年度 新規事業】 - 高齢化率の上昇・人口減少が著しい安芸灘地域の持続的な振興を図るため、当該地域に居住する高校生等の子育て世帯に対し、安芸灘大橋通行料が無料となるまで奨励金を交付し、高校生等の定着と他の地域からの移住を促進します（交付対象：安芸灘地域に高校生等が居住し、その高校生等を養育する保護者（保護者も安芸灘地域に居住する場合に限る。）、交付金額：高校生等1人当たり1か月2万円）。 - 地域が無償譲渡を受けるコミュニティ施設について、施設を継続して使用するために必要となる改修等の費用に対する助成を行います。 2 安全・安心な生活の確保 - 安全・安心な消費生活を確保できるよう、65歳以上のみの世帯を対象に迷惑電話防止機能が付いた固定電話機の購入費用の一部を助成しました。 3 人権尊重と男女共同参画の推進 - 男女共同参画基本計画を策定しました（第4次計画を令和5年3月に策定）。 - 男女が互いにその人権を尊重し、性別にかかわらず、責任も分かち合い、その能力と個性を十分に発揮できる社会の実現に向け、男女共同参画の推進に係るセミナーや講演会を開催しました。

4 防災・減災に向けた体制の強化

- ・ 大規模災害に備え、避難所の施設整備や備蓄物資の充実を図り、避難生活の質を向上させました。
- ・ 土砂災害・津波・洪水等のハザードマップについて、最新の情報をスマートフォンやパソコンで閲覧できるようWeb版ハザードマップを作成しました。
- ・ 平成30年7月豪雨災害の教訓や記憶を時間の経過とともに風化させることなく、次世代に継承するための取組を実施しました（被災状況や復興状況等がわかるウェブサイト「呉市復興ミュージアム」の構築，主な被災箇所等への説明板の設置，いなしふれあい広場（安浦地区）を一時避難場所として，また，災害の教訓や記憶を継承する場として天応西条公園を整備）。
- ・ 災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等の避難支援等の実効性を高めるため，ケアマネジャー等の福祉専門職や地域の民生児童委員などと連携し，個別避難計画の作成に取り組みました。

【令和7年度 新規事業】

- ・ 聞き取りにくい等の防災行政無線が抱える問題を解決するため，音声・文字情報を同時並行で発信できる防災アプリを導入します。
- ・ 災害時に避難所となる呉市立学校5校の体育館について，児童生徒等の学習環境の向上と避難者の生活環境の改善のため，空調整備をするための設計業務を実施します。（政策分野1再掲）

5 消防・救急機能の強化

- ・ 常備消防の能力向上のほか，自助・共助を促進し，地域防災力の底上げを図るため，消防団や自治会などが教育訓練施設として活用することができる土砂災害・震災対応訓練施設を整備しました（令和4年1月完成）。
- ・ 老朽化が進む「東消防署川尻出張所」及び近隣の「川尻分団詰所・車庫」を統合して複合庁舎の建設を行うため，令和6年度に広島県から土地を購入しました。

【令和7年度 新規事業】

- ・ 救急現場での患者情報をデジタル化し，医療機関との情報共有を図るため，救急搬送支援システム導入費用の一部を広島県に対し負担することで，救急搬送の迅速化と業務の効率化を実現します。
- ・ 災害発生時に上空からの情報収集を可能とする災害用ドローンを導入することで，災害対策本部を始め，現場で活動する消防職員等にリアルタイムで映像を共有していきます（災害用ドローン：2機，操縦技能の講習受講等）。

6 国内外との多様な交流機会の充実

- ・ 令和7年1月からLINEのセグメント配信機能を活用し，年代に合せたターゲットを設定し，よりきめ細やかな情報を希望する人に配信しています。
- ・ 市民の地域への愛着や誇りの醸成を図るため，令和4年度に呉市記念日式典，講演会の開催，記念ピンバッジの作成などを実施しました（令和4年10月2日開催，来場者：約1,500人）。
- ・ 災害から復興に向かって進んでいる「元気な呉」をPRするため，全国のご当地キャラが集うキャラ祭を開催しました。
- ・ 更なる呉の魅力を発信するため，呉にゆかりがあり，呉を積極的に応援してくださる人を対象とした首都圏での交流会（東

	京)の開催やフェイスブックの活用による情報発信等を実施しました。(呉ファンクラブ会員数:392人(令和7年2月25日現在),フェイスブックグループ会員数:2,789人(令和7年2月25日現在)) 【令和7年度 新規事業】 - 令和6年度に実施延期となった呉市・ブレマトン市の姉妹都市提携55周年を記念した相互訪問を実施します。 - 被爆80年の節目に広島県で開催される,核兵器廃絶を目指す科学者たちの国際組織「パグウォッシュ会議」の世界大会に合わせて講演会等を開催します。
課題	1 市民協働と多文化共生の推進 - 外国人住民が安心して生活することができるよう,引き続きサポートする必要があります。 2 安全・安心な生活の確保 - 本市の地形特性から,地震災害が発生した際に津波災害,土砂災害が同時発生する可能性が十分にあることから,Web版ハザードマップに土砂災害と津波のハザードを同時に見ることが可能な項目を追加予定であり,今後は地震時に起こりうる災害についての周知及び防災意識の向上を図る必要があります。 3 人権尊重と男女共同参画の推進 - 第4次くれ男女共同参画基本計画で定めた様々な指標に対し,目標値の達成に向けて,引き続き,セミナーや講演会等を開催し,啓発していきます。 4 防災・減災に向けた体制の強化 - 現状の備蓄物資は,平成25年10月に広島県が発表した地震被害想定調査結果を基準とした備蓄・調達方針に基づき購入・保管していますが,現在,広島県において備蓄方針の修正が検討されており,備蓄品目や数量の増加が見込まれます。 - 防災アプリについては,市民の50%以上のダウンロードを目標としており,より多くの市民にダウンロードしてもらう工夫が必要です。 - 支援が必要と考えられる人に対する個別避難計画の作成の進め方や,作成した個別支援計画の運用方法などを引き続き検討していく必要があります。 5 消防・救急機能の強化 - 大規模化する災害に対応するため,消防施設,新たな資機材及びシステムを活用した更なる消防力の充実及び救急・救助体制の強化が必要です。 引き続き,川尻地区の防災拠点施設として,耐震・安全性を確保するほか,女性消防職員の配置に必要な就業環境,バリアフリー化,ZEB化を取り入れた施設の整備を進めていく必要があります。

政策分野 4	文化・スポーツ・生涯学習分野
目指すべき姿	文化芸術やスポーツに親しみ、生涯を通じて学ぶことができるまち
基本政策	1 文化の振興 2 スポーツの振興 3 生涯学習の推進
主な取組と成果	文化芸術やスポーツに親しみ、生涯を通じて学ぶことができるまちの実現に向けて、文化の振興、スポーツの振興、生涯学習の推進に取り組みました。 1 文化の振興 ・ 豊町御手洗伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理事業に対し、助成を行うとともに、広島県史跡「若胡子屋跡」修復工事を実施しました。 ・ 日本遺産MONTHや日本遺産の構成文化財を巡るツアーなどの開催を通して、日本遺産のストーリーを効果的に情報発信するとともに、亀ヶ首発射場跡などの構成文化財の環境整備を実施しました。 【令和7年度 新規事業】 ・ 「朝鮮通信使再現船」が日本へ運航されることから、朝鮮通信使と縁のある呉市への寄港に合わせた歓迎イベントを「呉・大博覧会」の一環として開催します。 2 スポーツの振興 ・ 安芸灘地域を中心に、サイクリングやウォータースポーツ等のスポーツイベントやハンザヨットなど誰もが一緒に楽しめるインクルーシブスポーツ普及のための体験会の開催を通じて、呉市ならではの地域資源を生かしたアウトドアスポーツのブランド化に向けた取組を進めました。 ・ 新たなスポーツ競技人口の増加等が見込まれる、アーバンスポーツの振興とともに、若者を中心としたコミュニティの場の創出を目指し、天応公園や呉ポートピアパークにおけるアーバンスポーツ施設の整備を進めました。 ・ 呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換とスポーツ施設の再整備を推進しました。 【令和7年度 新規事業】 ・ 市民が身近にプロスポーツを「観る」機会を創出することによるスポーツの振興及び大和ミュージアムの大規模リニューアルに伴う休館による観光客の減少対策として、広島東洋カープ2軍戦を誘致します。 ・ 倉橋グラウンドにおいて、硬式野球用の天井ネット付きのバックネットを設置するほか、老朽化した安浦体育館の移動式バスケットゴールを更新します。

	3 生涯学習の推進 - 中央図書館利用者の利便性向上のため、エレベーターの改修のほか、各階のトイレ洋式化、多目的トイレの改修を実施しました。 - 市民が社会に出てからも学び直しができ、実践的な能力やスキルを取得できるリカレント教育を身近に感じてもらうきっかけづくりとして、呉市と連携している大学等においてそれぞれの特色を生かした短期の公開講座を実施しました。 【令和7年度 新規事業】 - 令和7年で100周年を迎える呉市立図書館の記念事業を実施するとともに、その一部を「呉・大博覧会」のイベントとして実施します（呉市立図書館100周年記念セレモニーの開催、記念トークショーの開催、屋内プロジェクションマッピングの実施など）。 - 呉市立図書館の蔵書の方向性等を検討するため、現況調査やニーズ調査などを実施します。 - 若者に寄り添い、社会的自立を支援するためのユースワーカーを養成します。
課題	1 文化の振興 - 豊町御手洗伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等を保存していくにあたり、地域住民の減少による空き家化や老朽化した建物への修繕にかかる負担の増大が課題となっています。 - 歴史文化を魅力的に発信し多くの市民に関心を寄せてもらうとともに、地域と一体となった取組を進めていく必要があります。 2 スポーツの振興 - アーバンスポーツ施設を、若者を中心としたコミュニティの場とするため、施設の供用開始に向けて、新たなスポーツ分野であるアーバンスポーツの振興やルール・マナーの啓発、施設の利用促進を促す必要があります。 - スポーツ施設の再整備を行う中で、スポーツ施設を利用できない期間が生じますが、引き続き、工期短縮や事業費の抑制に努めながら、できるだけ利用者への影響が少なくなるよう、最大限の配慮を行う必要があります。 - 地元の団体や民間事業者との連携等、ブランディング成果の定着・継続への取組が課題となっています。 3 生涯学習の推進 - 若者の居場所が限られており、ユースセンターなど若者の集える場所の確保が課題となっています。

政策分野5	産業分野
目指すべき姿	誰もがチャレンジでき、時代を先取る産業を創造するまち
基本政策	1 地域産業の発展・チャレンジ環境の整備 2 企業誘致・雇用環境の整備 3 観光の振興 4 農水産業の振興
主な取組と成果	誰もがチャレンジでき、時代を先取る産業を創造するまちの実現に向けて、中小企業支援、企業誘致、観光・農水産業の振興等に取り組みました。 1 地域産業の発展・チャレンジ環境の整備 ・ 呉市、広島大学を始め、海上保安大学校、笹川平和財団と連携し、関連団体や企業と協力しながら「海洋文化都市くれ」の実現を目指し、海洋・海事に関わる教育や産業等の分野での先進的な取組を推進しました。 ・ 中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき設置した中小企業・小規模企業振興会議で重点取組テーマを設定し、中小企業・小規模企業の事業承継と脱炭素経営の促進に対する支援を実施しました。 ・ 令和2年度から、くれ産業振興センターに配置した2人のアドバイザーを中心とした次世代型ビジネスモデル支援サービス「Bit' 呉」による、飲食業や小売業等を含めた全ての業種への新事業・新製品開発、後継者育成に関する相談や、支援プログラムの策定による経営課題の解決、人材育成塾を開催しました。 ・ 地域経済の活性化を担うチャレンジャーを一人でも多く輩出することを目的として、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した創業支援を実施しました。 ・ 女性の創業を支援するためのセミナーを開催しました。 ・ 空き店舗や空きビルを新たなまちづくりの核として再生・活用する民間主導のプロジェクトを推進するため、対象物件を発掘しリノベーションスクールを開催するとともに、令和4年度から令和5年度にかけて、新たに官民それぞれの役割に基づいた今後の取組方針を定めるリノベーションまちづくり構想を策定しました。 2 企業誘致・雇用環境の整備 ・ 呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換とスポーツ施設の再整備を推進しました。(政策分野4再掲) ・ 日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の全設備休止により離職を余儀なくされた従業員の再就職支援や、関連企業の事業転換等の支援を実施しました。 ・ トップセールス等の積極的・効果的な企業誘致により、半導体関連企業の新工場建設のほか、菓子製造・販売企業や外資系ラグジュアリーホテル及びソフトウェア開発企業の本市への進出に繋がりました。 【令和7年度 新規事業】 ・ 呉市・広島大学Town&Gown Officeの設置・運営など企業や関係団体との連携強化、アジアにおける海洋・海

事の国際的教育・研究・社会連携の拠点整備に向けた検討を行います。

- ・ 中小企業の人手不足の解消や、学生のU I J ターンを促進するため、県外の大学を卒業し、呉市の企業に就職しようとする学生に対し、選考試験や面接に要した往復交通費の一部を助成します。

3 観光の振興

- ・ 博物館としての更なる魅力向上を図るため、大和ミュージアムの施設・設備及び展示の大規模リニューアルを実施しています。
- ・ 大和ミュージアムの休館対策として「呉・大博覧会」を開催しています（1/10 大和の館外からの見学通路の整備、大和ミュージアム仮展示室の設置、入船山記念館で企画展を開催、体験交流型プログラム（くれオンパク）の開催、各種イベントの充実など）。
- ・ 観光にマーケティングの視点を取り入れ、地域一体となって戦略的に観光施策・プロモーションを展開する「新たな観光推進体制」の構築に向けて、CRM実証事業を実施するとともに、観光情報発信のプラットフォームとなる公式観光サイト「くれとりっふ」を開設しました。また、様々な人が観光を産業と捉え、それぞれが役割を担い、協力して持続可能な観光振興を推進するため、観光関連事業者等への観光意識醸成を図る講演会を開催しました。

【令和7年度 新規事業】

- ・ 大和ミュージアムの休館対策である「呉・大博覧会」を継続開催し、ガバメントクラウドファンディングによる大型イベント支援、マイクレマルシェ、呉海自カレー・呉グルメフェスタ、呉みなと祭、海上花火大会など各種イベントの充実を図ります。
- ・ 呉市の地域資源を最大限に活用した呉観光ブランドの形成・確立に向けた取組を行う組織として、呉市民、事業者、市役所などが一体となって新たに設立した「ツーリズムKURE」による国内外の観光客に向けた情報の発信や観光プロモーションなどの事業を実施します。
- ・ 大和ミュージアムリニューアルに伴い、イギリスの王立空軍博物館との連携の実現に向けた取組を実施します。
- ・ 音戸の瀬戸公園の魅力を高め、より多くの方が憩い、にぎわう観光拠点とするため、民間事業者による外資系ラグジュアリーホテルや飲食施設の整備と連携した公園全体のリニューアルに着手します。

4 農水産業の振興

- ・ A I や I o T などの先端技術を活用した新しい農業を推進するため、担い手等に対し先端機器等の導入に必要な経費の一部を助成しました。
- ・ 呉市内への農業参入を促進するため、個人を対象とした支援制度に加え、新たに農業参入する呉市内外の企業等に対し、生産等施設及び機械の整備に要する経費の一部を助成しました。
- ・ 有害鳥獣捕獲報奨金の交付のほか、狩猟免許新規取得に要する講習会受講料や箱わな購入費用等の一部を助成しました。また、呉市のジビエを普及させるため、市民を対象にしたジビエ料理講習会・試食会を開催しました。
- ・ 豊かな海の再生を図り、水産資源の回復を目指して、下水処理場からの放流水に含まれる栄養塩類（窒素、リン）の濃度を高め、海に栄養を届ける実証実験を広島大学と連携して実施しました。

	・ 環境負担の軽減を図るため、呉市の農家が市内に有する農地に投入する堆肥の購入に要する経費の一部を助成しました。 【令和7年度 新規事業】 ・ カキ殻の地域利用促進を図るため、海中の堆積場からの搬出方法や利活用方法を検討する実証実験を実施します。
課題	1 地域産業の発展・チャレンジ環境の整備 ・ 市内の中小企業・小規模企業の人材不足が課題となっています。現在、中小企業・小規模企業振興会議の重点取組テーマを「人材」と定め、議論を進めており、そこで得られた意見を踏まえ、効果的な施策について検討していく必要があります。 ・ 市内の中小企業・小規模企業では、人材不足に加え、DX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいないことが大きな課題となっています。その背景として、ITやDXに関する人材やノウハウの不足、経営者や従業員の認識不足などが挙げられます。今後は、人材確保・育成とともに、DX推進に向けた支援策についても検討していく必要があります。 ・ 「誰もがチャレンジできるまち」と認識されるような創業機運の醸成には時間を要するため、中長期的に複数の取組を継続していく必要があります。 ・ 民間主導の官民連携で取り組んできたリノベーションまちづくりについて、中央地区での更なる推進及びまちづくりの人材の裾野やエリアの拡大に向けて取り組む必要があります。 2 企業誘致・雇用環境の整備 ・ 企業が立地できる公的な産業団地が、市内にほぼない状況であり、企業留置・誘致を推進していくためにも、国有地・県有地、更には民間の遊休地の活用も含め、企業の事業用地の確保について検討していく必要があります。 3 観光の振興 ・ 観光を基幹産業として成長させていくためには、新組織「ツーリズムKURE」を中心として、歴史、文化、自然などの地域資源を最大限に活用した呉観光ブランドの形成・確立に向けた取組が必要です。 ・ 訪日外国人旅行者の周遊の促進や消費の拡大、誘客促進を図るため、地域全体における多言語対応などの受入れ環境の整備が必要です。 ・ 呉市の主要な集客施設の1つである大和ミュージアムの魅力向上のため、25万点を超える収蔵資料の調査・研究・展示面での活用を図る点から、公開型大型資料収蔵庫の整備（リニューアルⅡ期）や周辺施設との機能分担などが課題となっています。 4 農水産業の振興 ・ 市内への農業参入促進を図るための支援事業の活用が伸び悩んでいるため、企業等への周知や農地集積の困難さを解消する必要があります。 ・ 従来のイノシシやシカといった有害鳥獣に加え、サルやアライグマ等の新たな獣種の出没が増加傾向にあり、その対策を講じていく必要があります。

政策分野6	都市基盤分野
目指すべき姿	誰もが安全・安心で快適に暮らせる持続可能なまち
基本政策	1 安心して住み続けられるまちづくりの推進 2 移動しやすい交通環境の形成 3 道路の整備 4 河川、砂防・急傾斜、高潮・津波対策の推進 5 公園・にぎわい空間の創出 6 港湾機能の充実・魅力向上 7 上下水道の整備
主な取組と成果	誰もが安全・安心で快適に暮らせる持続可能なまちの実現に向けて、都市基盤の整備に取り組みました。 1 安心して住み続けられるまちづくりの推進 - 交通まちづくりとスマートシティの発信拠点の形成を基本理念とした、呉駅周辺地域総合開発を推進しました。令和6年度には、旧そごう呉店建物の解体撤去を完了し、呉駅交通ターミナルと一体となる後継建物の整備に着手しました。 - 新婚・子育て世帯が、居住誘導区域内において高い省エネ性能を有する新築戸建・集合住宅及び中古集合住宅を取得する際の費用の一部を新たに助成するとともに、これまでの移住希望者等への中古住宅購入費用の一部助成についても、居住誘導区域内での住宅取得に対する追加助成（10万円）を行いました。また、県外の方々に呉市での生活を体験してもらうため、市営住宅を活用したお試し住宅を開始したほか、東京圏から就業のために呉市へ移住する世帯について、1世帯当たり最大100万円を助成し、更に子ども1人につき100万円を加算しました。 【令和7年度 新規事業】 - 第1期開発後の呉駅南側における土地利用及びまちづくりの方向性の検討を実施します。 - 市内中心部の市営住宅集約化に係る官民連携手法の導入検討及び市営住宅に併設されている公立保育所の移転・集約化を含めた在り方についての検討を実施します。 - 高齢化率の上昇・人口減少が著しい安芸灘地域の持続的な振興を図るため、当該地域に居住する高校生等の子育て世帯に対し、安芸灘大橋通行料が無料となるまで奨励金を交付し、高校生等の定着と他の地域からの移住を促進します（交付対象：安芸灘地域に高校生等が居住し、その高校生等を養育する保護者（保護者も安芸灘地域に居住する場合に限る。）、交付金額：高校生等1人当たり1か月2万円）。（政策分野3再掲） 2 移動しやすい交通環境の形成 - 将来的な次世代モビリティの導入を見据え、自動運転車両の走行環境整備や交通社会実験を実施しました。 - 生活交通路線・生活航路の運行（運航）に係る経費の一部負担などにより、路線等の維持・確保を図りました。

3 道路の整備

- ・ 人流・物流を支え、災害に強い道路ネットワークを構築するとともに、交通事故の減少と安全を確保するため、幹線道路の整備推進に向けた国・県等への働きかけや、地元調整等を行いました。
- ・ 広島呉道路（クレアライン）4車線化では、呉市の関係部署で構成する建設促進プロジェクトチームを設置し地元調整等を行い、西日本高速道路株式会社において、令和3年度に工事着手されました。さらに、呉市において呉インターチェンジへのアクセス道路となる市道中央二河町線の道路拡幅・無電柱化を推進しました。
- ・ 東広島・呉自動車道では、令和4年3月に阿賀IC立体化（呉方面）が完成し、広島空港へのアクセス性の強化や交通の円滑化、安全性の向上が図られました。また、正面衝突事故の対策として令和4年9月にワイヤーロープ式防護柵（土工部等）の設置が完了しました。
- ・ 主要地方道呉平谷線では、広島県において、上二河工区が令和3年3月に工事着手されるとともに、此原工区が令和5年3月に供用開始されました。また、都市計画道路焼山押込線では、広島県において、焼山北～焼山泉ヶ丘（本庄1工区）の工事等が進められるとともに、焼山北（本庄2工区）が令和4年度に事業着手されました。
- ・ 生活環境の改善、通行の安全確保等を図るため、呉市において、都市計画道路や市道の整備を推進しました。大新開吉松線は令和6年12月に完成し、横路1丁目白石線は令和7年度に完成を予定しています。また、市道森要垣内線改良事業を推進しました。
- ・ 社会資本の機能を適切に維持・発揮させ、安全で快適な日常生活や社会経済活動を支えるため、トンネルや橋りょうの老朽化対策や道路舗装の長寿命化対策を推進し、令和5年3月に国の直轄修繕代行事業による仁方隧道改修事業が完了しました。

4 河川、砂防・急傾斜、高潮・津波対策の推進

- ・ 平成30年7月豪雨災害や国の国土強靱化対策を踏まえ、河川、砂防・急傾斜、高潮・津波対策の推進について、国・県等への働きかけを行うとともに、呉市において、河川の改良・浚渫、急傾斜地崩壊対策を実施しました。また、呉市高潮・津波対策整備計画の策定及び海岸保全施設の整備を実施しました。
- ・ 安浦地区では、広島県において、二級河川野呂川水系の整備が推進され、野呂川ダムの事前放流の運用が令和5年4月に開始されるとともに、中畑川において上流の流木捕捉施設などの整備が始められました。また、中央地区では、広島県において、二級河川堺川水系内神川の整備が推進されました。
- ・ 国や広島県において、再度災害防止に係る砂防事業が推進され、天応地区を流れる大屋大川においては、遊砂地や砂防えん堤の整備などが進められました。また、広島県において、砂防アクションプランに基づく計画的な砂防・急傾斜地崩壊対策事業が推進されました。
- ・ JR広島駅を中心とした広東地区等における浸水被害の発生頻度や被害の軽減を図るため、雨水の浸水対策を推進しました。

5 公園・にぎわい空間の創出

- ・ 青山クラブ・桜松館、呉市立美術館、入船山記念館が集積する幸町地区エリア全体の魅力を向上させ、新たなにぎわいを創出し、歴史・文化・芸術の拠点として整備するため、幸町地区総合整備検討有識者会議において、幸町地区総合整備エリアデザ

	インを取りまとめました。 - 蔵本通りと堺川沿いの中央公園一帯の公共空間を、居心地が良く歩きたくなる人中心のウォークアブルな空間として再構築するに当たり、令和5年度より今後のまちづくりの方向性を示すための「呉まちなか公共空間デザイン計画」を策定し、運営や整備の在り方を検討するための社会実験やワークショップを実施しました。 - 災害発生時に広域避難場所としての機能を向上させるとともに、本庁舎や体育館と連携した防災中枢拠点として災害対応時の活動スペースを確保する等の防災機能の強化を目的とした中央公園の再整備を推進しました。 【令和7年度 新規事業】 - 取りまとめた幸町地区総合整備エリアデザインを踏まえ、幸町地区総合整備基本計画を策定します。 - 音戸の瀬戸公園の魅力を高め、より多くの方が憩い、にぎわう観光拠点とするため、民間事業者による外資系ラグジュアリーホテルや飲食施設の整備と連携した公園全体のリニューアルに着手します。（政策分野6再掲） 「音戸の瀬戸公園の魅力向上」や「中央公園一帯のウォークアブルなまちづくり」を始めとした、公園整備や公園空間の利活用に係る考え方や今後の取組方針を定めるため、「呉市緑の基本計画」を改定します。 「呉まちなか公共空間デザイン計画」や社会実験・ワークショップの成果を踏まえ、「呉まちなか公共空間基本デザイン」を策定します。 6 港湾機能の充実・魅力向上 - RORO船の就航が可能となるよう阿賀マリノポリス地区の前面泊地の浚渫やポートセールスを実施しました。 - カーボンニュートラルポートの形成に向けた検討を進めています。 【令和7年度 新規事業】 - 港湾施設、漁港施設等に係る維持管理計画を更新します。 7 上下水道の整備 「呉市上下水道ビジョン」に基づき、将来にわたって安全・安心で安定した上下水道サービスを提供するため、老朽化が進んだ配水池、浄化センター等の施設の更新を実施しています。 - 管路更新計画に基づき、継続して老朽化が進んだ配水管の統合やダウンサイジングを実施しながら、耐震性の高い管へ更新しています。
課題	1 安心して住み続けられるまちづくりの推進 - 誰もが安全・安心で快適に暮らせる持続可能なまちの実現に向け、引き続き、移動しやすい公共交通の形成や道路、河川、砂防・急傾斜、港湾・海岸、公園、上下水道などの施設の整備や老朽化対策など都市基盤の整備に取り組んでいく必要があります。 - 多様な技術革新が進展している状況を踏まえながら、ビッグデータやA Iなどを活用し、地域の課題解決を図り、新たな魅力ある都市を創造していくことが求められています。

2 移動しやすい交通環境の形成

- ・ 次世代モビリティの導入等により、将来にわたり持続可能な交通体系を維持していくことが重要となっています。
- ・ 地域公共交通利用者の減少に加え、物価高騰等に伴う費用増により、公的負担額が高くなっているとともに、運転手・船員不足により、地域公共交通の維持・確保が困難となりつつあります。このため、令和7年3月に策定した「呉市地域公共交通計画」に掲載している各種事業を推進していくことで、利便性・採算性・持続可能性の高い地域公共交通の再構築に取り組む必要があります。

5 公園・にぎわい空間の創出

- ・ にぎわい空間の創出に向けて、現在進めている様々なまちづくりの取組を着実に進めていくとともに、これらの取組を結び、効果を高め合うような場として、まちなか公共空間の再構築を具体化していく必要があります。

6 港湾機能の充実・魅力向上

- ・ RORO船優先岸壁の整備や泊地増深のための浚渫等に時間を要しているほか、関係機関との調整が必要となっています。

7 上下水道の整備

- ・ 上下水道は、今後、修繕、改築更新の需要が一層高まることが想定されるため、施設の重要度や老朽化の進行状況を考慮した優先順位を設定し、予算の平準化を図りながら耐震化や老朽化対策を行う必要があります。

政策分野7	環境基盤分野
目指すべき姿	豊かな環境を次の世代につなぐまち
基本政策	1 環境の保全 2 循環型社会の形成
主な取組と成果	豊かな環境を次の世代につなぐまちの実現に向けて、環境の保全、循環型社会の形成を推進しました。 1 環境の保全 ・ 市営墓地の老朽化による維持管理の困難性や社会環境などの変化により納骨堂や承継を前提としない墓地施設への需要の高まりを受け、合葬式墓地（収蔵数：12,000 体）を整備しました。 ・ 脱炭素社会の実現に向け、呉市の地域性やポテンシャルを踏まえた再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策に関する施策を総合的かつ計画的に継続・推進するため、第3次環境基本計画を策定しました。 ・ 省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）への買換え費用の一部及び脱炭素化・省エネルギー化設備設置費用の一部を助成しました。 2 循環型社会の形成 ・ 循環型社会の実現に向けて環境負荷の軽減、安定的な廃棄物処理体制の確保等に関する施策を総合的かつ計画的に継続・推進するため、区域内のごみや、し尿の処理に関し、発生量や処理量の見込み、排出抑制のための方策など、基本的な事項を定めた呉市一般廃棄物処理基本計画を策定しました。 ・ 平成15年3月の運用開始から21年が経過しているクリーンセンターくれについて、将来にわたって安定的・効率的にごみ処理を実施するため、新施設整備に係る事業を推進しました。 ・ し尿処理施設等（6か所）の段階的統合や、将来にわたって安定的・効率的にし尿処理を実施するため、し尿等前処理施設を広多賀谷の東部処理場内に建設し、現在までに3か所の施設運用を終了し、引き続き施設の統合を進めています。 【令和7年度 新規事業】 ・ 脱炭素化の更なる推進を図るため、これまで燃えるごみとして焼却処分を行っていたプラスチックごみについて、再商品化が可能な状態へ加工処理を行うことができる事業者と契約を締結します。また、令和8年4月から開始予定のプラスチック資源の分別収集について、全市民に周知するため、家庭ごみガイドブックの全戸配布を実施します。
課題	1 環境の保全 ・ 豊かな環境を次の世代につなぐためには、市民・事業者・市が一体となって主体的に取り組む必要があり、各主体の行動変容を促進することが課題となっています。

2 循環型社会の形成

- ・ プラスチック資源の分別収集を実施することで、資源化によってごみ処理量が減少することから、適正な分別方法を周知するため、事業開始までに、できるだけ多くの住民の出席を呼びかけ、全市的に住民説明会を開催し、詳しい説明を丁寧に行っていくとともに、市広報誌やホームページ、SNSやアプリなど様々な媒体を活用して徹底した周知が必要となります。

政策分野 8	行政経営分野
目指すべき姿	市民の視点に立った効率的な市政を運営するまち
基本政策	1 デジタル化の推進 2 行財政改革の推進 3 職員・組織の活性化 4 都市間交流・連携の推進
主な取組と成果	市民の視点に立った効率的な市政を運営するまちの実現に向けて、デジタル化の推進、行財政改革の推進、職員・組織の活性化等を進めました。 1 デジタル化の推進 ・ 地域課題を解決し、市民の生活の質をより高めるために、A I、I o T、アプリの導入などの先端技術を活用し、スマートシティ「くれ」の実現に向けた取組を実施しました。 ・ 呉市の地域課題の解決に向けて寄せられた提案の中から、実現可能性の検討を進めるため、実証実験等を実施しました（スマートチャレンジくれ）。 【令和7年度 新規事業】 ・ マイナンバーカード等から証明書(住民票など)の発行に必要となる情報を読み取り、印字する機器を本庁舎、広市民センター及び昭和市民センターに設置し、「書かない窓口」サービスを導入することにより市民の窓口での待ち時間を短縮します。 ・ 窓口に並ぶことなく、マイナンバーカードを利用して住民票等が取得できる証明書自動交付機(行政キオスク端末)を広市民センターに設置し、窓口混雑緩和の効果検証を実施します。 2 行財政改革の推進 ・ 市民の利便性向上と業務の効率化を図ることを目的に、業務プロセスを可視化して非効率な部分を洗い出し、業務のプロセスの見直しを行うB P R(業務改革)について、全庁的な取組を進め、業務の具体的な見直しを実施しています。 3 職員・組織の活性化 ・ 仕事と子育て、介護、地域活動等を両立する職員の働き方を支援し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場の風土づくりに努め、自らも仕事と私生活の調和を図るとともに、それを実践できる人材と組織を育てることができるボス(管理職)の育成を行うため、市長が「イクボス宣言」(令和5年1月)を行いました。 【令和7年度 新規事業】 ・ 大和ミュージアムのリニューアルオープン後を見据えた運営や広報、P R等の手法の検討・実施、及び将来の市政を担う人材の確保に向けた取組を推進するため、地域活性化起業人制度を活用し、企業からの派遣社員を受け入れます。

	4 都市間交流・連携の推進 - 旧軍港市転換法に基づく事務の実施に当たるとともに、旧軍港四市の振興策に関する要望活動や関係省庁との連絡調整、災害時の相互応援などを連携して実施しました。 - 呉市・坂町・大崎上島町と各高等教育機関（海上保安大学校，近畿大学工学部，呉工業高等専門学校，広島文化学園大学，広島文化学園短期大学，広島国際大学，広島大学，広島工業大学，広島商船高等専門学校）との連携により，地域活性化研究助成，学生の夢実現プロジェクト助成などを実施しました。
課題	1 デジタル化の推進 - 地域課題の解決や地域経済の活性化など，市民生活の質の向上を実現するため，デジタル技術を活用して，市民のニーズに対応したより質の高い行政サービスを提供することが重要となっています。 2 行財政改革の推進 - 社会情勢の変化等に柔軟に対応し，安定した行政サービスを提供していくため，効率的な行政システムを構築していくことが必要です。 3 職員・組織の活性化 - 少子化による学生数の減少や民間企業等との人材獲得競争が激化する中，職員採用のさらなる取組強化が必要です。

3 重要業績評価指標（KPI）

8つの政策分野に対して63項目の重要業績評価指標（KPI）を設定していますが、令和7年3月末時点で、達成項目数は19項目、達成率は約30%となります。

政策分野 1	子育て・教育分野					
目指すべき姿	若い世代が安心して子どもを産み育て、未来を創る人材を育てるまち					
基本政策	1 妊娠・出産・子育て支援の充実 2 学校教育の充実					
重要業績評価指標 （KPI）	1 妊娠・出産・子育て支援の充実					
	KPI①	この地域で子育てしたいと思う親の割合 【健やか親子21 アンケート（毎年度実施）】				
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	目標値	－	93.0%	93.5%	94.0%	94.5%
	実績値	92.4%	93.3%	93.2%	93.1%	R7.6月 判明予定
	KPI②	子育て支援に関する行政サービスに満足している人の割合 【呉市民意識調査（5年毎実施）】				
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	目標値	－	－	－	－	25.0%
	実績値	22.2%	－	－	－	19.9%

	K P I 達成・未達成理由
	K P I ① ・ 妊産婦に対する支援は拡充してきましたが、家庭・社会が抱える課題が複雑化するとともに、行政による支援への要求の高まり等が要因となり、目標を下回っています。 K P I ② ・ 新型コロナウイルス感染症拡大による子育て支援事業の利用控え等の影響から、子育て支援サービスに接する機会が減少し、子育て支援に関する行政サービスの満足度につながらなかったことなどにより、目標値を下回っています。

重要業績評価指標
(KPI)

2 学校教育の充実

KPI①	全国学力・学習状況調査結果（全国平均値との差） 【調査：毎年度実施】					
年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
	令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
目標値	-	-	-	-	小学校 国語 5.8 算数 5.0 中学校 国語 5.0 数学 5.0	小学校 国語 6.0 算数 5.0 中学校 国語 5.0 数学 5.0
実績値	小学校 国語 5.2 算数 2.4 中学校 国語 2.2 数学 2.2	小学校 国語 4.3 算数 0.8 中学校 国語 -0.6 数学 -1.2	小学校 国語 4.4 算数 0.8 中学校 国語 0 数学 -1.4	小学校 国語 3.8 算数 1.5 中学校 国語 1.2 数学 -1.0	小学校 国語 4.3 算数 2.6 中学校 国語 -0.1 数学 -1.5	-
KPI②	学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合 【全国学力・学習状況調査質問紙調査（毎年度実施）】					
年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
	令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
目標値	-	小 88.5% 中 85.5%	小 88.5% 中 85.5%	小 89.0% 中 88.0%	小 89.0% 中 88.0%	小 90.0% 中 90.0%
実績値	小 88.3% 中 85.1%	小 82.8% 中 81.9%	小 82.9% 中 83.4%	小 88.1% 中 85.5%	小 86.3% 中 85.3%	-

	K P I 達成・未達成理由
	K P I ① ・ 授業改善及び学力向上に向けた管理職の意識の向上や具体的な手立ての充実を図ってきたところであり、一定の成果はみられるものの、目標値を下回っています。特に知識・技能の習得に課題があることが原因で、中学校数学科が連続して全国平均を下回っています。 K P I ② ・ 目の前の子どもの姿をよく見て実態を把握し、各中学校の特色を生かした取組を充実させてきたことにより小中ともに全国平均を上回るなど一定の成果はみられるものの、目標値を下回っています。

政策分野 2	福祉保健分野						
目指すべき姿	誰もが、住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けることができるまち						
基本政策	1 地域福祉の推進 2 健康づくりの推進 3 高齢者福祉の推進 4 障害者福祉の推進 5 生活困窮者の支援						
重要業績評価指標 (KPI)	1 地域福祉の推進						
	KPI①	地域福祉計画の策定					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	策定	－	－	－	策定済
	実績値	未策定	策定	－	－	－	－
	KPI達成・未達成理由						
・ 呉市地域福祉計画を令和4年3月に策定し、子ども・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組を着実に進めています。							

重要業績評価指標 (KPI)	2 健康づくりの推進						
	KPI①	健康であると感じている市民の割合 【呉市民意識調査（5年毎実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	－	－	－	80.0%	80.0%
	実績値	71.8%	－	－	－	69.6%	－
	KPI②	要介護・要支援認定率（65歳～74歳） 【介護保険事業状況報告月報（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%
	実績値	3.7%	3.9%	3.8%	3.8%	－	－
	KPI達成・未達成理由						
	KPI①						
	健康的な生活習慣の定着に向けた事業を実施してきましたが、健康に関する情報が多様化したことが原因で自身が健康でないとする市民が増加したことにより目標値を下回っています。						
	KPI②						
	介護予防普及啓発事業（筋力トレーニング、口腔ケアの推進など）などに取り組んだことにより、ほぼ目標値に沿って推移しています。						

重要業績評価指標 (KPI)	3 高齢者福祉の推進						
	KPI①	地域包括ケアシステムの完成度（広島県地域包括ケアシステム評価指標「行政の関与・連携」項目）【広島県地域包括ケアシステム調査（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	53%	63%	75%	85%	100%
	実績値	45%	100%	100%	91%	－	－
	KPI②	毎日の生活について「生きがいあり」と回答した高齢者の割合 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（3年度毎実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	－	－	54.5%	－	56.0%
	実績値	53.2%	－	－	52.9%	－	－
	KPI達成・未達成理由						
	KPI① - 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めたことにより、目標を達成しています。 KPI② - 当該設問に無回答だった高齢者の割合が増加したことにより、目標値を下回っていますが、無回答の高齢者を除いた「生きがいあり」と回答した高齢者の割合は増加しています（令和元年：56.7%→令和5年：57.7%）。また、新型コロナウイルス感染症を原因とした外出控えにより、高齢者の「生きがい」である「趣味」、「友人との交流」、「ボランティア活動」などの活動が制限されたことも、「生きがいあり」という高齢者の増加を押しとどめた原因と考えられます。						

重要業績評価指標 (KPI)	4 障害者福祉の推進						
	KPI①	平均工賃月額（就労継続支援型B型） 【広島県工賃向上に向けた取組調査（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	17,500円	18,000円	18,500円	19,000円	19,500円
	実績値	16,047円	15,784円	15,337円	22,397円	-	-
	KPI②	福祉施設入所者のうち、地域生活移行者数（年間） 【地域移行者数の実績（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	5人	5人	5人	5人	5人
	実績値	5人	9人	4人	4人	R7.7月 判明予定	-
	KPI達成・未達成理由						
	KPI① - 新型コロナウイルス感染症の影響により、就労継続支援B型の工賃が予想より伸びなかったことから、目標値を下回っています。 KPI② - 障害者支援施設に入所した人が、自身の意思で地域生活に戻ることができるように相談支援事業所を始めとした関係機関などと情報共有に努めており、概ね目標を達成できる見込みです。						

重要業績評価指標 (K P I)	5 生活困窮者の支援						
	K P I ①	自立相談支援による就労者数（累計） 【独自調査（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	49 人	75 人	102 人	130 人	160 人
	実績値	23 人	101 人	131 人	168 人	R7.6 月 判明予定－	－
K P I 達成・未達成理由							
相談窓口である福祉の窓口とハローワークサテライトが併設しており，就労支援に向け円滑に連携を図れる環境にあることなどにより，目標値を上回り，高い水準を維持しています。							

政策分野3	市民生活・防災分野						
目指すべき姿	多様な主体が協働し、誰もが安心して笑顔で暮らせるまち						
基本政策	1 市民協働と多文化共生の推進 2 安全・安心な生活の確保 3 人権尊重と男女共同参画の推進 4 防災・減災に向けた体制の強化 5 消防・救急機能の強化 6 国内外との多様な交流機会の充実						
重要業績評価指標 (KPI)	1 市民協働と多文化共生の推進						
	KPI①	市民活動に参加している市民の割合 【呉市民意識調査（5年毎実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	-	-	-	50.0%	-
	実績値	37.7%	-	-	-	37.0%	-
	KPI②	多文化共生イベント等の参加者数（年間） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	3,700人	3,900人	4,200人	4,500人	4,800人
	実績値	3,490人	1,398人	2,770人	3,225人	R7.4月判明 予定	-
	KPI達成・未達成理由						
	KPI① - まちづくりに関心があるものの、市民活動への参加へあと一歩が踏み出せない市民が多いことなどから、目標値を下回っています。 KPI② - 新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止や参加自粛により、目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	2 安全・安心な生活の確保						
	KPI①	消費生活, 防犯, 交通安全に関する行政サービスに満足している人の割合 【呉市民意識調査(5年毎実施)】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	-	-	-	40.0%	-
	実績値	29.2%	-	-	-	26.1%	-
	KPI②	市内特殊詐欺被害件数・被害額(年間) 【調査:毎年度実施】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	被害件数 6件 被害額 8,000千円	被害件数 5件 被害額 6,500千円	被害件数 4件 被害額 5,000千円	被害件数 3件 被害額 3,500千円	被害件数 2件 被害額 2,000千円
	実績値	被害件数 8件 被害額 10,834千円	被害件数 14件 被害額 38,807千円	被害件数 16件 被害額 23,996千円	被害件数 17件 被害額 38,512千円	被害件数 38件 被害額 81,548千円	-
	KPI達成・未達成理由						
	KPI①② ・ 迷惑電話防止機能付き電話機の購入助成及び警察や防犯連合会等と協力した啓発活動を行っていますが、高齢者を狙った電話等を使った還付金詐欺等の特殊詐欺に加え、近年では、IT技術の急速な進展により、SNS型投資詐欺等の新たな詐欺が次々と発生しており、目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	3 人権尊重と男女共同参画の推進						
	KPI①	差別をなくすべきであると考えている人の割合 【呉市民意識調査（5年毎実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	-	-	-	90.0%	-
	実績値	83.6%	-	-	-	84.8%	-
	KPI②	女性の管理職がいる事業所の割合 【男女共同参画に関する企業の取組状況調査（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	48.0%	50.0%	52.0%	53.5%	55.0%
	実績値	46.5%	51.0%	45.8%	51.2%	52.8%	-
	KPI達成・未達成理由						
	KPI① ・ 教育機関，法務局などと協力したうえでの啓発活動が不足していることが原因で目標値を下回っています。 KPI② ・ 仕事と家庭の両立の難しさ，管理職への昇進意欲の低さなどの要因により目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	4 防災・減災に向けた体制の強化						
	KPI①	防災意識の向上度（災害対策をしている市民の割合） 【呉市民意識調査（5年毎実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	－	－	－	90.0%	－
	実績値	73.7%	－	－	－	78.4%	－
	KPI②	自主防災組織活動カバー率（年間） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	85.5%	86.3%	87.1%	87.9%	88.7%
	実績値	83.9%	86.5%	87.0%	86.9%	R7.4月 判明予定	－
	KPI達成・未達成理由						
	KPI①② ・ 防災意識の向上度及び自主防災組織の活動カバー率は、防災に関する情報共有や避難訓練を地域ぐるみで実施することにより向上する。しかしながら、各家庭においては、災害への備えに関する正しい知識や情報が不足しており、また、地域防災の担い手の高齢化が進行していることも原因となり、目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	5 消防・救急機能の強化						
	KPI①	火災件数（年間） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	29件	29件	29件	29件	29件
	実績値	44件	34件	47件	36件	32件	－
	KPI②	市民による応急救護の実施率 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	65.0%
	実績値	39.9%	62.0%	69.0%	63.0%	51.1%	－
	KPI達成・未達成理由						
	KPI① - 建物火災原因別件数のうち、「たばこ」「こんろ」「配線器具」が全体の約3分の1を占めており、これらの火災対策に係る広報が不十分だったことなどにより、目標値を下回っています。 KPI② - 心肺停止事案件数が増加しており、そのうち、明らかな死亡状態（冷たくなっている等）である事案が増加しています。また、通報者の高齢化も進んでおり、身体機能の低下等により、体位変換や胸骨圧迫が実施できない場合が多くなっていることなどから、目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (K P I)	6 国内外との多様な交流機会の充実						
	K P I ①	呉市の認知度（全国順位） 【地域ブランド調査（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	90 位	85 位	80 位	75 位	70 位
	実績値	100 位	116 位	140 位	113 位	89 位	－
K P I 達成・未達成理由							
コロナ禍により呉氏の出動回数が大幅に減少したことや、全国に向けた周知が十分ではなかったことが原因で目標値を下回っています。							

政策分野 4	文化・スポーツ・生涯学習分野						
目指すべき姿	文化芸術やスポーツに親しみ、生涯を通じて学ぶことができるまち						
基 本 政 策	1 文化の振興 2 スポーツの振興 3 生涯学習の推進						
重要業績評価指標 (K P I)	1 文化の振興						
	K P I ①	文化芸術（音楽、演劇、絵画等）を鑑賞した市民の割合（年 1 回以上） 【文化芸術に関する市民意識調査（R 3， 7 年度に実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	51. 0%	－	－	－	58. 0%
	実績値	42. 9%	26. 0%	－	－	－	－
	K P I ②	文化施設の来館者数（年間） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	73, 200 人	74, 400 人	75, 600 人	76, 800 人	78, 000 人
	実績値	72, 087 人	41, 094 人	71, 900 人	69, 468 人	R7. 4 月 判明予定	－
	K P I 達成・未達成理由						
	K P I ① ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による文化事業の中止等により、目標を下回っています。						
K P I ② ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少し、その後、回復傾向にあるものの、目標値を下回っています。							

重要業績評価指標 (K P I)	2 スポーツの振興						
	K P I ①	スポーツを定期的（週 1 回以上）に行う市民の割合 【スポーツに関する市民意識調査（R 3， 7 年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	60.0%	－	－	－	64.0%
	実績値	56.9%	57.9%	－	－	－	－
	K P I ②	全国大会出場者数（年間） 【呉市スポーツ（体育）協会の全国大会出場者への補助人数（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	280 人	320 人	350 人	380 人	420 人
	実績値	248 人	121 人	304 人	268 人	R7.4 月 判明予定	－
	K P I 達成・未達成理由						
	K P I ①② ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツに取り組む機会が失われたため目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (K P I)	3 生涯学習の推進						
	K P I ①	生涯学習センター等が実施する講座（定期・短期）の受講者数（年間） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	11, 000 人	11, 250 人	11, 500 人	11, 750 人	12, 000 人
	実績値	10, 923 人	7, 842 人	8, 952 人	9, 412 人	R7. 4 月 判明予定	－
	K P I ②	図書館の図書貸出冊数（年間） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	980, 000 冊	985, 000 冊	990, 000 冊	995, 000 冊	1, 000, 000 冊
	実績値	969, 874 冊	778, 000 冊	804, 982 冊	790, 145 冊	R7. 5 月 判明予定	－
	K P I 達成・未達成理由						
	K P I ① ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による講座の中止や、市民が外出を控え講座を受講する機会が少なくなったため、目標値を下回っています。 K P I ② ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少し、その後、回復傾向にあるものの目標値を下回っています。						

政策分野5	産業分野						
目指すべき姿	誰もがチャレンジでき、時代を先取る産業を創造するまち						
基 本 政 策	1 地域産業の発展・チャレンジ環境の整備 2 企業誘致・雇用環境の整備 3 観光の振興 4 農水産業の振興						
重要業績評価指標 (K P I)	1 地域産業の発展・チャレンジ環境の整備						
	K P I ①	中小企業経営革新計画承認企業数（累計） 【広島県公表（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	12 社	19 社	27 社	36 社	46 社
	実績値	6 社	12 社	30 社	38 社	R7. 4 月 判明予定	－
	K P I ②	創業・起業者数（累計） 【創業支援事業計画調査（国）（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	281 者	426 者	574 者	724 者	877 者
	実績値	139 者	255 者	399 者	489 者	R7. 6 月 判明予定	－
	K P I 達成・未達成理由						
K P I ① ・ 中小企業等経営強化法に基づき定めた呉市導入促進基本計画による設備導入に対する支援や、くれ産業振興センターにより新製品・新技術開発を支援したことにより、目標値を上回っています。							
K P I ② ・ 起業家支援プロジェクトや女性の創業支援のほか、呉市創業支援等事業計画を策定し、市内の創業支援を行っており、一定の創業にはつながっていますが、機運醸成には中長期での継続的な取組が必要であることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰の影響もあり、目標値を下回っています。							

重要業績評価指標 (KPI)	2 企業誘致・雇用環境の整備						
	KPI①	企業立地助成制度活用企業数（累計） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	16社	19社	22社	25社	28社
	実績値	13社	17社	18社	20社	R7.5月 判明予定	－
	KPI②	雇用促進事業による就職者数（累計） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	136人	278人	426人	580人	740人
	実績値	130人	119人	361人	539人	R7.7月 判明予定	
	KPI達成・未達成理由						
	KPI① - 市内に事業用地を求める企業ニーズはあったものの、事業拡張できる市の公的団地や民間の遊休地が不足していることや、新型コロナウイルス感染症の影響や物価・原油高により企業が投資を見合わせたこと等により、目標値を下回っています。 KPI② - 雇用促進事業における講座やセミナーを開催する際、積極的に関係機関への広報依頼やSNSでの広報・周知活動に取り組んだこと等により、目標値を上回っています。						

重要業績評価指標 (K P I)	3 観光の振興					
	K P I ①	観光消費額（年間） 【独自集計（毎年度実施）】				
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
	目標値	－	－	24,900 百万円	26,600 百万円	28,300 百万円
	実績値	24,900 百万円	9,141 百万円	9,914 百万円	12,222 百万円	R7.7 月 判明予定
K P I 達成・未達成理由						
新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が落ち込み、少しずつ回復を見せているものの、まだコロナ以前の水準には達していないことに加え、インバウンド対応強化に向けて整備を進めている段階であること、また物価高騰による遊興費の抑制などにより、目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	4 農水産業の振興						
	KPI①	新たな農業法人の設立・参入件数（累計） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	2件	3件	4件	5件	6件
	実績値	1件	2件	3件	3件	R7.4月 判明予定	－
	KPI②	新たな養殖漁業への取組件数（累計） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	3件	4件	5件	6件	7件
	実績値	2件	3件	3件	3件	R7.4月 判明予定	
	KPI③	有害鳥獣による農作物の被害面積（年間） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	27ha	26ha	25ha	24ha	23ha
	実績値	27ha	30ha	18ha	6ha	R7.5月 判明予定	－
	KPI達成・未達成理由						
	KPI①						
	・ 企業から参入に対する問い合わせはあるものの、計画の熟度が低い場合や資材費の高騰、農地集積の困難さが原因で目標値を下回っています。						
	KPI②						
	・ 新たな取組に必要な高額な初期費用と高齢化等により新規参入意欲が低下していることが原因で目標値を下回っています。						

	KPI③ ・ 防護柵の設置（防護柵補助事業）により被害が低減したこと，豚熱によりイノシシの頭数が減ったこと等により，目標値を上回っています。
--	--

政策分野6	都市基盤分野						
目指すべき姿	誰もが安全・安心で快適に暮らせる持続可能なまち						
基本政策	1 安心して住み続けられるまちづくりの推進 2 移動しやすい交通環境の形成 3 道路の整備 4 河川, 砂防・急傾斜, 高潮・津波対策の推進 5 公園・にぎわい空間の創出 6 港湾機能の充実・魅力向上 7 上下水道の整備						
重要業績評価指標 (KPI)	1 安心して住み続けられるまちづくりの推進						
	KPI①	居住誘導区域内の人口密度 【呉市立地適正化計画（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	現状値維持	現状値維持	現状値維持	現状値維持	現状値維持
	実績値	66.3人/ha	低密度化 (64.1人/ha)	低密度化 (63.1人/ha)	低密度化 (62.2人/ha)	低密度化 (61.2人/ha)	－
	KPI②	コンパクトシティ形成の核となる総合交通拠点の整備 【呉駅周辺地域総合開発基本計画（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	－	－	－	1施設	1施設
	実績値	0施設	－	－	－	0施設	－
	KPI達成・未達成理由						
KPI① ・ コンパクトで持続可能なまちづくりの実現に向けて、呉市立地適正化計画を策定し、様々な分野において施策を推進していますが、これらの取組による居住誘導の効果の発現には時間を要すること、また、人口減少が進み、居住誘導区域内の人口密度の維持が困難となっていることなどから、目標値を下回っています。							
KPI② ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により事業が延期されたため、未達成となっています。							

重要業績評価指標 (KPI)	2 移動しやすい交通環境の形成						
	KPI①	公共交通利用者数（路線バス，生活交通・航路，鉄道） 【呉市地域公共交通網形成計画（毎年度実施）】 ※人口減少の範囲内における利用者数の減少は，現状維持とみなします。					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	現状値維持	現状値維持	現状値維持	現状値維持	1,638万人
	実績値	1,742万人	1,338万人	1,362万人	1,391万人	R7.6月 判明予定	－
	KPI②	生活バスのバリアフリー化率 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	前年比5%増	前年比5%増	前年比5%増	前年比5%増	70%以上
	実績値	47%	前年比4%増 (58%)	前年比4%増 (62%)	前年比7%増 (69%)	R7.6月 判明予定	－
	KPI達成・未達成理由						
	KPI① - 人口減少に加え，新型コロナウイルス感染症の影響により，公共交通利用者数が大幅に減少し，コロナ前まで回復していないことから，目標値を下回っています。 KPI② - 生活バス車両の更新に合わせてノンステップバス車両を導入していることから，目標値を上回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	3 道路の整備						
	KPI①	呉市内の主要渋滞箇所における年間渋滞損失時間 【年間渋滞損失時間 [広島県] (毎年度実施)】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	約231万 時間/年	約142万 時間/年	約142万 時間/年	約142万 時間/年	約142万 時間/年
	実績値	約231万 時間/年	約231万 時間/年	約142万 時間/年	約142万 時間/年	約142万 時間/年	-
	KPI②	老朽化した橋りょうの整備箇所(累計) 【呉市橋りょう長寿命化修繕計画(毎年度実施)】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	77橋	99橋	116橋	144橋	171橋
	実績値	39橋	71橋	81橋	109橋	148橋	-
	KPI③	緊急輸送道路、重要物流道路における橋りょうの耐震化完成箇所(累計) 【独自集計(毎年度実施)】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	1橋	1橋	13橋	19橋	27橋
	実績値	0橋	0橋	12橋	18橋	25橋	-
	KPI達成・未達成理由						
	KPI①						
	・計画どおり事業が進捗していることから、目標値を上回っています。						
	KPI②						
	・国の補助事業に係る補正予算を活用し、整備を前倒しで実施したことにより、目標値を上回っています。						
	KPI③						
	・小規模な橋りょうについて、耐震調査や修繕を実施したことにより目標値を上回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	4 河川、砂防・急傾斜、高潮・津波対策の推進						
	KPI①	河川機能強化改修工事実施個所（累計） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	14河川	17河川	19河川	19河川	20河川
	実績値	0河川	14河川	17河川	18河川	19河川	－
	KPI②	急傾斜地崩壊対策工事実施個所（累計） 【独自推計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	749か所	751か所	753か所	754か所	755か所
	実績値	745か所	746か所	752か所	753か所	754か所	－
	KPI③	高潮（津波）防護達成人口率 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	64.2%	64.9%	65.6%	66.3%	67.0%
	実績値	63.5%	63.5%	63.6%	63.7%	R7.7月 判明予定	－
	KPI達成・未達成理由						
	KPI①						
	・ 工事予定だった「山の垣内川」が国の施工となりましたが、目標値どおり推移しています。						
	KPI②						
	・ 土地所有者等の協力が得られるなど、事業が順調に進捗したことにより目標値どおり推移しています。						
	KPI③						
	・ 当該年度内に措置された予算の範囲内で工事を進めており、整備にも時間がかかるため、目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	5 公園・にぎわい空間の創出						
	KPI①	老朽化した遊具の整備箇所（累計） 【呉市公園施設長寿命化計画（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	80基	110基	140基	170基	200基
	実績値	50基	116基	139基	165基	196基	-
	KPI②	路上イベント等の件数（年間） 【独自推計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	30件	35件	40件	45件	50件
	実績値	27件	35件	40件	36件	R7.6月 判明予定	-
	KPI③	公園イベント等の件数（年間） 【独自集計（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	-	36件	37件	38件	39件	40件
	実績値	36件	31件	40件	43件	R7.6月 判明予定	-
	KPI達成・未達成理由						
	KPI①						
	・ 国の補正予算等で整備事業を前倒して実施したことから、目標値を上回っています。						
	KPI②						
	・ コロナ終息後実施件数が伸びつつありましたが、開催場所の見直し等により目標値を下回っています。						
	KPI③						
	・ コロナ禍を受け屋外でのイベント実施に対して注目度が上がったこと等により、目標値を上回っています。						

重要業績評価指標 (K P I)	6 港湾機能の充実・魅力向上						
	K P I ①	老朽化した港湾施設の整備箇所（累計） 【維持管理計画（長寿命計画）（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	7 施設	9 施設	11 施設	13 施設	15 施設
	実績値	3 施設	3 施設	3 施設	4 施設	R7.7 月 判明予定	
	K P I ②	放置艇解消率 【プレジャーボート実態調査（R 3 年度から毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	50%	100%	100%	100%	100%
	実績値	－	0%	53%	57%	R7.5 月 判明予定	－
	K P I 達成・未達成理由						
	K P I ①						
	・ 当該年度内に措置された予算の範囲内で工事を進めており、整備にも時間がかかるため、目標値を下回っています。						
	K P I ②						
	・ 放置艇の所有者の把握・所有者不明の放置艇の処理にかなりの時間を要し、交渉等が進まないため、目標値を下回っています。						

重要業績評価指標 (KPI)	7 上下水道の整備						
	KPI①	管路の耐震化率（上水道） 【呉市上下水道ビジョン（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	11.0%	11.8%	12.7%	14.2%	15.1%
	実績値	9.2%	11.8%	12.8%	13.7%	R7.6月 判明予定	－
	KPI②	管きよの耐震化率（下水道） 【呉市上下水道ビジョン（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	31.1%	31.4%	31.7%	31.6%	32.0%
	実績値	30.2%	30.7%	31.1%	31.5%	R7.6月 判明予定	
	KPI③	雨水整備計画区域のうち、整備が完了した割合 【呉市上下水道ビジョン（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	41.4%	41.4%	41.4%	41.0%	41.2%
	実績値	38.3%	38.5%	38.5%	41.0%	R7.6月 判明予定	－
	KPI達成・未達成理由						
	KPI①						
	・ 老朽管の整理・統合なども考慮し、計画的に耐震管への布設替えをすることにより、耐震化率が向上し、目標値を上回っています。						
	KPI②						
	・ 管更生工事の工程変更により目標値を下回っています。						
	KPI③						
	・ 資材、労務費等工事費の上昇により、雨水排水施設の整備延長が目標を下回ったことから、目標値を下回っています。						

政策分野 7	環境基盤分野						
目指すべき姿	豊かな環境を次の世代につなぐまち						
基 本 政 策	1 環境の保全 2 循環型社会の形成						
重要業績評価指標 (K P I)	1 環境の保全						
	K P I ①	温室効果ガスの排出量 【環境白書（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		平成 2 9 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	4, 988 千 t	4, 869 千 t	4, 749 千 t	4, 629 千 t	4, 509 千 t
	実績値	5, 467 千 t	R8. 3 月 公表予定	R9. 3 月 公表予定	R10. 3 月 公表予定	－	－
	K P I ②	大気汚染環境基準の達成率 【環境調査報告書（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	目標年
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	目標値	－	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	85%	85%	85%	85%	R7. 12 月 公表予定	－
	K P I 達成・未達成理由						
	K P I ① ・ 市民・事業者・市がそれぞれ取組を進めたことにより、令和 3 年度の暫定値は 4, 076 千 t-CO2 となっており、目標値を上回る見込みです。						
K P I ② ・ 大気汚染環境基準の常時監視項目 5 項目のうち、光化学オキシダントが未達成であることから、目標値を下回っています。							

重要業績評価指標 (K P I)	2 循環型社会の形成						
	K P I ①	一人1日当たりのごみの排出量 【環境白書（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	941g	938g	935g	933g	930g
	実績値	962g	951g	943g	899g	R8.3月 公表予定	－
	K P I ②	一般廃棄物のリサイクル率 【環境白書（毎年度実施）】					
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	目標値	－	15.2%	15.2%	15.2%	15.3%	15.3%
	実績値	14.0%	14.4%	13.5%	14.2%	R8.3月 公表予定	
	K P I 達成・未達成理由						
	K P I ①						
	・ 一人1日当たりのごみの排出量については、事業者と連携した、資源化等の取組によって、目標値を上回っています。						
	K P I ②						
	・ 資源化量及び処理量がほぼ横ばいであることから、目標値を下回っています。						

政策分野 8	行政経営分野					
目指すべき姿	市民の視点に立った効率的な市政を運営するまち					
基本政策	1 デジタル化の推進 2 行財政改革の推進 3 職員・組織の活性化 4 都市間交流・連携の推進					
重要業績評価指標 (KPI)	1 デジタル化の推進					
	KPI①	呉市オープンデータの項目数（累計） 【独自集計（毎年度実施）】				
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	目標値	－	37項目	53項目	69項目	85項目
	実績値	21項目	37項目	60項目	84項目	143項目
	KPI②	オンライン申請ができる窓口手続き（累計） 【独自集計（毎年度実施）】				
	年度	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目
		令和元年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	目標値	－	37業務	48業務	61業務	78業務
	実績値	29業務	36業務	88業務	93業務	110業務
	KPI達成・未達成理由					
	KPI① 「呉市オープンデータ」で公開しているデータを「データプラットフォームくれ」へ移行するとともに、庁内の関係課や関係機関（広島大学やくれみらい）から提供を受けたデータを積極的に公開したため、目標値を上回っています。 KPI② - 呉市LINE公式アカウントのリニューアル（令和6年9月）に併せ、新たにオンライン手続きを開始したため（例：呉市価格高騰重点支援給付金、学校施設目的外予約等）、目標値を上回っています。					

重要業績評価指標 (K P I)	2 行財政改革の推進					
	K P I ①	将来負担比率 【独自集計（毎年度実施）】				
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
	目標値	－	69. 6	67. 2	64. 8	62. 4
	実績値	74. 4	56. 0	43. 7	34. 9	R7. 9 月 公表予定
K P I 達成・未達成理由						
・ 投資的事業の計画的な執行による市債残高の縮減や交付税措置のある有利な起債の活用とともに、充当可能基金である財政調整基金残高が目標値設定時の見込よりも回復したことから、将来負担額を減少させることができ、目標値を上回っています。						
重要業績評価指標 (K P I)	3 職員・組織の活性化					
	K P I ①	仕事にやりがいを感じている職員の割合 【独自集計（毎年度実施）】				
	年度	基準年	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
		令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
	目標値	－	72. 0%	74. 0%	76. 0%	78. 0%
	実績値	67. 0%	66. 7%	67. 8%	66. 7%	65. 9%
K P I 達成・未達成理由						
・ 業務の煩雑さや職場環境などが影響し、目標値を下回っています。						